

さまざまなステークホルダーとの 深化した“KIZUNA”を構築

コーセーグループでは2011年度から、今後の中長期的な活動テーマとして、“KIZUNA(絆)”を掲げました。私たちが今回経験した大震災では、国境を越え、世界中の多くの人々から温かい支援が寄せられ、またアメリカの行った救援活動「トモダチ作戦」も大きな話題となりました。地球上に生きる人たちが本当に強い絆で結ばれていることを、改めて考えさせられる出来事でした。

コーセーが絆を活動テーマに選んだのも全く同じ意味からです。私たち企業は、私たちがお届けする化粧品を使つてくださるお客さまと深く結びついています。お客さまに喜んでいただきたい、お客さまが美しく、そして健康な日々を送るお手伝いをしたい。コーセーが創業以来、何よりも大切に、今日まで堅持してきた考え方です。しかし、私たちはお客さまとだけ結びついているわけではありません。コーセーグ

ループの化粧品を販売して下さる皆さま、原料や資材を提供して下さる皆さま、株主の皆さま、当社グループで働く従業員もコーセーグループを支える大切な存在です。さらに言えば、地域社会、そこに生活する人々や世界中の人々が暮らす地球との結びつきなくして企業の存続はあり得ません。

継続的かつ新たな社会貢献活動を推進

このように、私たちと深い関わりを持つ多くの人々や社会、そして自然環境との関係を真剣に考え、企業としてやらなければならないことに真摯に取り組むために、改めて絆を企業活動のテーマとして掲げたのです。そこには、お客さまとの信頼関係やビジネス上の信用、さまざまな社会貢献活動を通じた関係性の構築について、さらなる持続性や多様性を配慮し、グローバル視点をより一層高め、これまで以上に深みのある“コーセーグループらしい”関係性を構築していく意志が込められています。

本報告書では誌面の都合上、そのすべてに触れることはできませんが、代表的な活動をご紹介しますことで、我々の考える絆を感じていただければと考えています。2009年からスタートさせた沖縄の海にサンゴを甦らせる「SAVE the BLUE」プロジェクトも大きな成果を挙げつつあります。また、2010年から新たに森林保全活動「more trees」への支援も開始しました。従来からの身体障がい者雇用支援、盲導犬育成支援、スポーツや文化活動に対する支援などにも引き続き力を注いでまいります。コーセーを愛し、育てて下さる皆さまのためにも、決して立ち止まることはしません。ステークホルダーの皆さまと、地域社会や世界社会と、美しい地球の環境とより良い関係を築くために、常に前進していく所存です。

今後とも、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社コーセー 代表取締役社長

小林 一俊

TOP MESSAGE

すべてのステークホルダーと
強い“KIZUNA”を
作っていきます。



■ コーセーの存在理念 ■

「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する」

コーセーは美を核とする深く幅広い企業への飛躍を目指し、企業活動の判断基準を英知と感性という二つの言葉に集約しました。人々の限りない夢を実現するため、コーセーは社会の一員として企業活動に邁進していきます。

CONTENTS

トップメッセージ 02

環境とのかかわり

雪肌精による珊瑚保全活動
「SAVE the BLUE」 04

アウェイクによる
森林保全活動支援 06

環境に配慮した商品づくり 07

環境方針・環境活動推進 08

社会とのかかわり

お客さまとともに 10

お取引先とともに 12

地域社会とともに 13

社員とともに 14

コーポレートガバナンス 15

webもご覧ください

CSR活動の詳細な情報を
公開しています。

▶ www.kose.co.jp/jp/ja/company/csr/